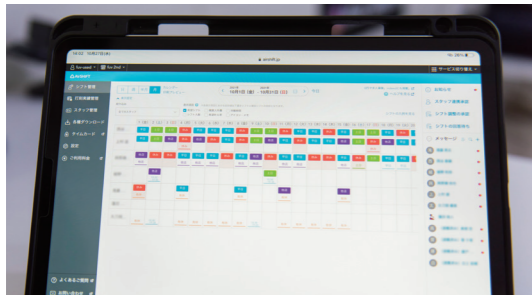




小熊氏は将来の多店舗化を視野にシフト管理の仕組み化が重要だと考え、『Airシフト』を導入した



シフト作成は月2回。アルバイトは平日12~20時、土・日・祝日11~21時の固定勤務のため、主に休日の調整を行う



21年7月から3店舗のシフト管理を担当する蓬田氏。操作が簡単のため、初めてでもすぐにシフト作成ができたという

注目の「Airシフト」導入店取材

株式会社fuv
古着専門店
スタッフ数/社員5人、アルバイト6人
代表取締役 小熊後汰氏



3店舗6名のシフト作成がわずか1時間ほどで完了

店舗での販売業務に注力しながら円滑なシフト管理が実現

シフト作成は月2回。アルバイトスタッフは、同じくリクルートが提供する「スタッフ用シフト管理アプリ」の『シフトボード』経由で休日希望を提出。期日までに希望の提出がない場合は、『シフトボード』に提出のリマインドが送られるため、希望シフトの収集もスムーズに行える。

「以前は、シフトに入ることができても休日希望を出すスタッフがいて、シフトが埋まらないことが多かったのですが、『バランスを見てきちんと休みをあげるから、特に予定がない日については出勤可能で出してほしい』と皆にお願いしました。これによりシフトが組みやすくなり、アルバイトスタッフの希望通りに休みを与えることもできるようになりました」（小熊氏）

これまでのシフト作成は小熊氏が担当していたが、現場に立つ時間が減り現場スタッフとのコミュニケーション機会も減少した。そこで21年7月より、3店舗を統括しているエリアマネージャーの蓬田旭人氏にシフト作成を一任した。

「前述の通り、『Airシフト』は直感的な操作でシフト作成ができるため、シフト管理の権限委譲もスムーズでした」と小熊氏。誰でも使いやすいユーザーインターフェースにより、業務の引き継ぎも難なく行えたことは、成長企業にとって大

シフト管理の権限をエリアマネージャーに委譲 誰でも使える操作性で引き継ぎもスムーズに

フにとってもより働きやすい環境へと改善した。



「fuv」は「お気に入りの古着屋」をコンセプトに、20年1月に東京・下北沢でオープン。現在「fuv.2号店」「fuv.別館」の計3店舗を展開する。海外から買い付ける若者のトレンドを押さえた品揃えが人気の理由の一つ。スエットやパーカをメインに、カラーパンツ、ニット類など、低単価アイテムからビンテージなど市場価値の高い高単価アイテムまでをそろえる。メンズアパレルのみで展開し、主な客層は10代後半~20代の男性だが、女性客も3割程度来店する

オンラインストアからスタートし、2020年1月に古着の一大マーケットである東京・下北沢に1号店をオープンした「fuv（フーブ）」。21年2月には2号店を、同年10月には3号店を出店し、今下北沢で勢いのある古着専門店として注目されている。

コンセプトは「お気に入りの古着屋」。海外から仕入れるトレンドを意識したラインアップで、同店を目指して訪れるお客様も多い。各店舗とオンラインストアを合わせたSNSフォロワー数は計5万人に届き、10代後半~20代に支持される新鋭の古着店として注目度も高い。

将来的な人員増に備えシフト管理の仕組み化に着手

fuvは、株式会社fuv代表取締役の小熊後汰氏と、友人でバイヤーの2人で立ち上げた古着専門店。1号店のオープン当

きなメリットだろう。

一方、現在シフト管理を担当する蓬田氏は、『Airシフト』を使った感想を次のように話す。

「今、3店舗でアカウントを分け、それぞれシフトを作成しています。『シフトボード』で届く休日希望は『Airシフト』に自動で反映されるため、あとは細かい調整のみで非常に簡便です。今は操作も慣れてきたので、1時間ほどで3店舗分のシフト作成が終わります。これまでの業務に加えてシフト作成という業務が増えましたが、シフト作成には時間がかからないのでその他の業務への支障はありません」

また、使ってみて便利だなと感じたのは色分けの機能。当社では平日、休日、有給、他店舗へのヘルプ勤務で色分けしています。スタッフも、色を見れば自分の勤務時間や勤務場所がすぐに分かるので便利です」

21年に入りアルバイトスタッフを増やしたが、当初より『Airシフト』を使っていたおかげで急激な人員増でもシフト作成を円滑に行うことができ業務の負担も軽減されている。

同社の今後の目標は、地方出店とEC販売の強化。「まずは下北沢での基盤を盤石なものにするため、4店舗まで拡大します。それから地方のマーケットに目を向けていく考えです」と小熊氏は話した。

初は、店舗接客とEC販売の管理を2人で回していた。20年2月にアルバイトを1人採用したときから、リクルートが提供するシフト管理サービス『Airシフト』の導入を開始。導入当初は少人数であったため、『Airシフト』でのシフト管理を目的にするというより、1カ月分のシフト表を印刷し、誰がいつ出勤しているかがひと目で分かるようにするために活用していた。

「創業時から多店舗展開を目指していましたが、いずれ人が増えたときのためにシフト管理の仕組みは持っておこうと、1号店のオープン時から『Airシフト』を導入しました。『Airシフト』は、リクルートが提供しているサービスということで、大手企業の信頼があったことが導入の決め手になりました。マニュアルを読めば操作が難しいことはなく、直感的に利用できる点も魅力で、これならシフト管理が簡単に行えるだろうと判断し導入を決めました」と小熊氏は言う。

店舗の出店に伴い人員も増えていき、現在は社員5人、アルバイトスタッフが6人の体制に。社員の役職はバイヤー、管理職が各1人、店長とエリアマネージャーで3人。アルバイトは1号店と3号店で2人、2号店に4人を配置している。勤務時間は平日、土・日・祝日それぞれで固定のため、シフト作成は主に休日の調整のために行っている。限られた人員の中で、別の店舗のアルバイトスタッフがシフトに入るケースも多いという。

シフトボード

スタッフ用シフト管理アプリとして、圧倒的な人気の無料アプリで、ダウンロード数は700万以上

『シフトボード』上で、シフトの提出・確認ができる他、店側とチャットでやりとりが可能。また、一度追加したシフトは履歴から素早く複数追加できるなど、管理も楽に行える。毎月の給与を自動計算してくれる機能など、スタッフが欲しい機能を網羅している点が、圧倒的な人気を誇る理由だ。店舗が用意するQRコードを『シフトボード』で読み込むだけで簡単に連携ができるのも、支持されているポイント。

サポート体制

『Airシフト』への登録後は、専門スタッフによる電話での導入サポートを実施。操作に困ったときには気軽に相談できる体制が整えられている。

お問い合わせ先
Airシフト ヘルプデスク
電話：0120-759-225（平日10時~19時）
<https://faq.airshift.jp/hc/ja/requests/new>

fuv.2号店



〒155-0031
東京都世田谷区北沢2-34-3 クリスタルベスビル2階
営業時間：12時~19時30分（平日）
11時~20時（土・日・祝日）
定休日：なし（年末年始を除く）
<https://www.fuvused.jp/>